

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

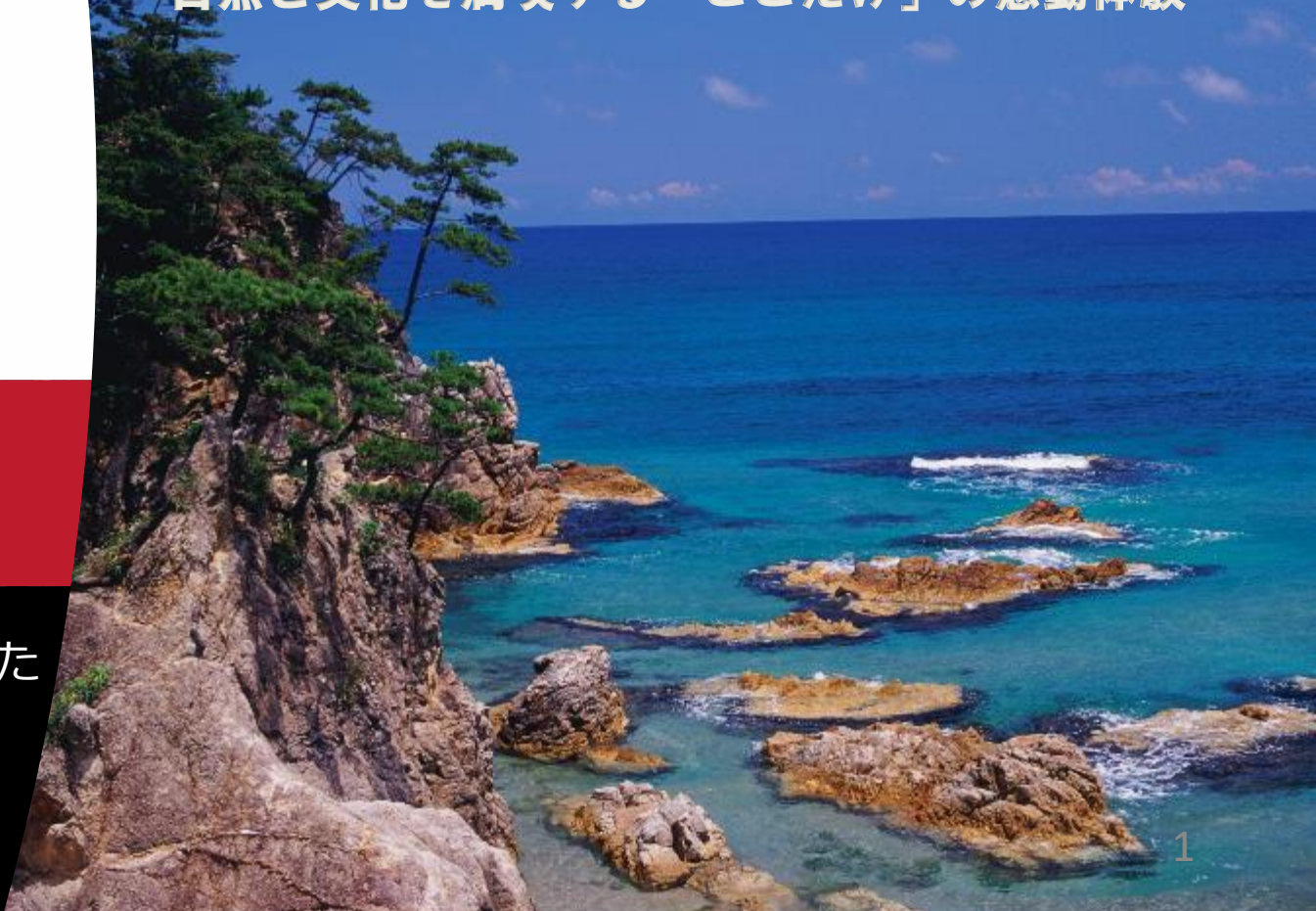


ふるさと名物
Furusato Meibutsu

鳥取県岩美町
が応援するふるさと名物

「山陰海岸ジオパーク」を活用した
着地型・体験型ジオツーリズム

山陰海岸ジオパーク 海と大地の物語
～自然と文化を満喫する「ここだけ」の感動体験～





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

鳥取県岩美町

岩美町の プロフィール

面積：122.4km²
人口：11,891人
(平成29年1月現在)



岩美町は鳥取県東部に位置し、北は日本海に、南と西は鳥取市、東は兵庫県新温泉町に接する中国地方最北東端の町。

町の中央を、蒲生川（がもうがわ）が、中国山地の扇ノ山（おおぎのせん）山麓から15 kmにわたって貫流し、日本海に注いでいます。

日本海に面する東西およそ15 kmのリアス式海岸「浦富（うらどめ）海岸」は、日本海の荒波と風雪によって浸食された断崖絶壁、洞門、奇岩の中に、白砂青松の渚が点在し、壮大で美しい景観をつくり出しています。

浦富海岸は、山陰海岸国立公園や日本の渚100選に指定され、平成22年10月からは、本町の全域がユネスコ世界ジオパークネットワークに認定された「山陰海岸ジオパーク」の一部となっています。

蒲生川沿いに、開湯1200年の歴史を持つ岩井温泉は、源泉かけ流し100%の温泉として町内外から親しまれ、優れた温泉の証明である「国民保養温泉地」にも指定されています。

このように岩美町は、『海と山と温泉』の恵まれた自然豊かな町で、観光業と漁業を中心に発展しました。

ふるさとと名物

「山陰海岸ジオパーク」を活用した 着地型・体験型ジオツーリズム



複雑な岩石海岸と透明度25mともいわれる美しい海が広がる浦富海岸と、開湯1200年の歴史を誇る源泉かけ流しの岩井温泉。

これらの資源が、ユネスコ世界ジオパークに認定され、その科学的、文化的価値がみとめられました。

浦富海岸と岩井温泉を核とし、岩美町の景観や風土、食文化などを活かした「ここでしか見れない、体験できない」観光メニューを推進し、山陰海岸ジオパークを活用した着地型・体験型ツーリズムの活性化を目指します。

主な 地域資源



山陰海岸ジオパーク



ジオパークとは？

地球/大地という意味を持つ『ジオ』と公園という意味の『パーク』。『ジオパーク』は地質学や歴史などの観点から貴重で美しい地質遺産を有した自然公園の総称です。

ジオパーク保護・研究の活動はユネスコの支援により設立された、世界ジオパークネットワーク（GGN）により取り組まれています。

山陰海岸ジオパークは、山陰海岸国立公園を中心として、東は京丹後市の経ヶ岬（きょうがみさき）から西は鳥取市の青谷町（あおやちょう）までの東西120km、南北30kmのエリアです。

ここでは、日本列島がアジアの大陸の一部だった時代から日本海が形成され、今日に至るまでの経過を確認できる貴重な地形・地質遺産を見ることができます。また、多彩な自然を背景とした人々の文化や暮らしを学ぶ事ができます。

岩美町は、町の全域がジオパークエリアに指定され、浦富海岸や岩井温泉をはじめとする貴重な資源や観光スポットに恵まれています。



関連する
地域資源



浦富海岸

浦富海岸は岩美町の海岸線全域を指した名称です。

東は兵庫県境に接する陸上岬（くがみみさき）から、西は鳥取砂丘に接する駟馳山（しちやま）までのおよそ15kmのリアス式海岸で、砂浜と岩石、緑の松があいまって変化に富んだ壮大で美しい景観をつくり出しています。

古くから景勝地として知られ、山陰海岸国立公園に指定されるとともに、平成22年10月には、浦富海岸を含む山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定され、浦富海岸の魅力はより広く知られるようになりました。



せんがんまつしま
千貫松島



かもかいそ
鴨ヶ磯



にしわかいかん
西脇海岸



充実したアクティビティ

遠浅で美しい海岸には多くの海水浴客が訪れ、透明度が高い海では、シュノーケリングやシーカヤックなど様々な体験型観光メニューが楽しめます。



シーカヤック



シュノーケル



スタンドアップパドル



磯の生き物観察

関連する
地域資源



岩井温泉



岩井温泉



湯かむり唄

岩井温泉は、平安初期に開湯されたといわれ、およそ1200年の歴史がある山陰最古級の「源泉かけ流し」の温泉です。

純和風の落ち着いた趣のある旅館や外湯の「ゆかむり温泉」など、時代に流されることなく、「古き良き日本の温泉」の風情を守り続けています。

頭に手ぬぐいをのせ、数え歌を歌いながら柄杓でポカポカ湯を叩きながら湯をかぶる「湯かむり」という風習が残っています。



周辺のジオスポット

◆カキツバタ群落

砂丘の後背地に形成された潟湖（ラグーン）である又助池（またすけいけ）と標高400mにある唐川湿原（からかわしづげん）に、5月中旬から6月初旬にかけてカキツバタの紫の花が咲き誇ります。

◆横尾棚田

日本の棚田百選の一つ。地すべりによってできた緩斜面を利用して作られています。集落と山林が調和した美しい佇まいは見る人を和ませます。



ふるさと名物の内容

関連する
地域資源



ジオの恵み

広大な日本海と自然豊かな山間部に囲まれた岩美町では、「いわみ八宝」などの海と山の幸があふれ、独自の食文化も育まれました。その恵みを生かした体験メニューも充実しています。



主な体験メニュー

するめづくり



地引網



ﾌﾞ(ﾄﾞ)すくい



梨狩り



ぼぼちゃん (タナカゲンゲ)



赤がれい



マコモタケ



岩がき



~いわみ八宝~

ジオパークが育てた岩美町の特産品を選定し「いわみ八宝」と名付け、町内の旅館などで「ジオグルメ」として提供しています。

松葉がに



もさえび



新雪梨



白いか

岩美町の取り組み

1 渚交流館の整備

シーカヤックやシュノーケルなど体験型アクティビティの拠点施設を整備し、ジオツーリズムの受け入れ強化を図っています。



体験拠点施設
岩美町立渚交流館



シーカヤック体験

2 浦富海岸ジオウォークの開催

浦富海岸の海岸線に整備した遊歩道や砂浜を歩き、ジオパークの景観を満喫できるウォーキングイベントを毎年開催しています。



遊歩道（浦富海岸自然歩道）



3 ボンネットバスの運行

昭和中期に活躍していたボンネットバスを改装し、浦富海岸や岩井温泉、人気アニメのロケ参考地などを巡るレトロなバスツアーを実施しています。



町内を巡るボンネットバス



4 「ジオパーク魅力活用事業補助金」の創設

ジオパークを活用した事業の推進やジオパークの認知度向上などを目的に補助金を創設し、事業の支援を行っています。

例)

- ・ジオパークをPRする土産物や飲食品の開発など産業振興につながる事業
- ・ガイドの育成や研修会など普及・啓発の推進につながる事業
- ・ジオツーリズムの振興に繋がる事業



島めぐり遊覧船

昭和38年から山陰松島遊覧(株)が遊覧船の運航を開始し、現在では山陰海岸を代表する観光名所として知られています。

100人が乗れる大型の遊覧船は、洞門・洞窟や断崖絶壁が続く島々の間をぬうように進み、青く澄んだ海と美しい砂浜、迫力ある奇岩と青松の絶景を海から鑑賞できます。

小型船は、遊覧船では通れない狭い洞門や洞窟、水深の浅い入り江から断崖や奇岩を間近で鑑賞したり、箱めがねで海中の魚を観察することができます。



山陰松島遊覧が運行する遊覧船



島々の間を進む遊覧船



小型船は洞門を抜けることができる



箱めがねで水中を観察



岩美町長からのメッセージ



岩美町長 榎本 武利

浦富海岸をはじめとする「山陰海岸ジオパーク」がユネスコ世界ジオパークに加盟して6年が経過し、ジオパークと岩美町の認知度も年々高まって参りました。

平成28年には、宝島社発行の『田舎暮らしの本』での「住みたい田舎ベストランキング」1位に岩美町が輝きましたが、これは、この豊かな自然環境や景観が評価されたことも要因だと思います。

また、平成29年6月からJR西日本の豪華列車「トワイライトエクスプレス瑞風」が運行されますが、「日本の原風景」が残る町として本町の東浜駅が停車駅に選ばれました。

今後も、ジオパークや瑞風を情報発信のよい契機としてとらえ、より多くの人に岩美町を知っていただくとともに、観光地の整備や観光メニューの充実、地元生産品の提供と併せて地域経済の循環を図り、地域の発展に結びつけたいと考えております。